

令和7年度 学校評価 教職員・保護者アンケート結果

基本方針

「子どもたちが自立して生きる力の育成を目指す」

目指す学校像 (1) 環境づくり 安心安全で信頼される学校
 (2) 授業づくり 日々の学びを大切にしている学校
 (3) 夢・希望づくり 生きる力を育む学校
 (4) 関係づくり 地域に開かれ、つながる学校

重点目標 (1) 児童生徒の命を守り、安心安全に学べる環境
 (2) 児童生徒一人一人に生きる力をつける指導の充実
 (3) キャリア教育・就労支援の充実
 (4) 地域の中で学び、地域とともに歩む学校づくり
 (5) 合理的配慮の提供を踏まえた教育実践
 (6) ICTや情報・教育データの利活用
 (7) 学校における危機の認識

・各項目の平均値をA (3.2以上) 、B (2.8以上～3.2未満) 、C (2.4以上～2.8未満) 、D (2.4未満) として表記。
 保護者アンケート 4段階 (4:よくできている 3:できている 2:あまりできていない 1:できていない 0:わからない)
 教職員アンケート 4段階 (4:できた 3:がんばりたいできた 2:あまりできなかった 1:できなかった)

項目	領域	評価の観点	関係する部署	評価項目	教職員(全体)アンケート結果	保護者(全体)アンケート結果	
本年度目標		横の連携	運務による切れ目ない一貫した相談・支援体制の充実	全体	子どもを支える関係者同士(学年・学部内・各分掌・事務室)が連携して、相談・協力し合うことができたか。	B 3.12	A 3.53
		交流および共同学習	他校等との交流及び共同学習の推進	支援部	居住地校交流・学校間交流の目的を共有し、相互理解が図られたか。	B 3.09	— —
		交流および共同学習	地域との交流及び共同学習の推進	全体	地域の方々との交流の目的を共有し、相互理解が図られたか。	B 2.97	B 2.84
		交流および共同学習	定期的な交流や情報共有を行う仕組みの構築	全体	新たな方法や工夫を用いて、相手校と交流をすることができたか。	B 2.98	C 2.57
		基本方針	本校基本方針と本年度目標	全体	今年度の相手校・地域との連携を通じて、子どもたちの自立して生きる力を育成することができたか。	B 2.96	C 2.78
目指す学校像	学校経営	全体	教職員の主体性を尊重しながら、組織的な学校運営が行われているか。	C 2.73	— —		
安心・安全で信頼される学校	子どもたちの学びを支える環境	組織のあり方	全体	働きやすい環境作りのため、教職員間のコミュニケーションや良好な人間関係づくりに努めたか。	B 2.95	— —	
			全体	各種会議において、活発に意見が言える雰囲気づくりに努めたか。	B 2.84	— —	
			全体	各種会議を行うことで、課題解決に向けた取り組みを行うことができたか。	B 2.86	— —	
			全体	連続性のある多様な学びの場における教育を行うため、他学部の情報共有・理解に努めたか。	C 2.79	— —	
			全体	連続性のある多様な学びの場における教育を行うため、学部間での協力・連携(縦の連携)ができたか。	C 2.78	B 3.06	
			全体	円滑な学校運営を継続していくため、業務の引き継ぎや情報共有が十分に行われたか。	B 2.86	A 3.61	
	学校危機管理	日々の環境整備	全体	児童生徒の安全な教育環境のために施設・設備を点検し整備したか。	A 3.27	A 3.48	
			全体 防災委員会	学校の防災に対する意識を高め、防災のあり方について各学部、学年、分掌で話し合うことができたか。	A 3.28	A 3.49	
			全体 総務部	本校の防災マニュアルに則して、経路の確認や避難訓練時に適切な避難行動を行うことができたか。	A 3.43	— —	
			全体 総務部	避難訓練にあたって事前学習で児童生徒と共通理解を図り、避難訓練を適切に実施することができたか。	A 3.39	— —	
		体調管理	全体	熱中症や感染症等対策を適切に行いながら、学習活動の充実に努めることができたか。	A 3.44	A 3.47	
		教員の資質向上	研修への積極的取り組み	全体 研究研修部	特別支援教育について知識を深め、専門性の向上を図ることができたか。	B 3.12	— —
			業務改善	全体 情報部	教育用クラウドやファイルサーバーを効果的に活用し、会議時間の短縮や情報共有の効率化を図り、児童生徒へ向き合う時間の創出につなげることができたか。	B 2.89	— —
信頼協力関係の構築	各学部		児童生徒の個々の学校生活の様子について、連絡機や懇談等を通して保護者と情報共有し、相互の信頼関係のちと協力して、課題解決に向けて取り組むことができたか。	A 3.22	A 3.57		
保護者との関係	医療的ケア	保健部 各学部	医療的ケアの必要性と意義を教職員全体で理解し、看護師や学校医・主治医と連携して適切なケアを行うことができたか。	B 3.02	— —		
	発作対応など	全体	発作やアレルギー対応の児童生徒を把握し、情報の共有や適切な対応を行ったか。	A 3.28	— —		
	個別に応じた学習指導	個別の指導計画の作成・活用	教務部 各学部	児童生徒をよく観察し、実態把握に基づいた個別の指導計画を作成することができたか。 担任間で指導方針について情報共有し、手立てに即した指導をすることができたか。 個別の指導計画や引き継ぎシートに基づいて学部・学年間で十分に情報共有し、引き継ぎの内容が指導に活かされたか。	A 3.20 A 3.30 B 3.15	— — A 3.47 — —	
日々の学びを大切にしている学校	授業改善	指導方法や指導体制の工夫	各学部	各教科における個別の目標に基づき、児童生徒が意欲的に取り組めるような工夫ができたか。	A 3.20	A 3.54	
		障害の理解・対応	各学部	児童生徒の障害特性を理解し、生活面、行動面、学習面において適切な対応と指導ができたか。	A 3.20	— —	
	児童生徒理解	教師間の協力	各学部	クラス内で担任間が共通理解し、協力し合うチームティーチングができたか。	A 3.30	— —	
		情報教育	ICT活用	全体 情報部	大型提示装置やタブレット等のICT機器を積極的に活用し、児童生徒の学習効果を高めることができたか。	B 3.19	B 3.14
	困難な課題への対応	関係部署の連携	支援部 生徒指導部	児童生徒の課題に対して、関係する部署が連携し、適切に対処することができたか。	A 3.21	— —	
	生きる力を育む学校	進路指導	進路指導体制の充実	進路指導部	「進路だより」の発行等により、進路に関する制度等、必要に応じた情報提供を適切に行えたか。	B 3.13	B 3.19
		キャリア教育	自立に向けた系統性のある指導	進路指導部 支援部 各学部	児童生徒が自己表現・自己発信できる(卒業時につけたい力)のために、学部間で連携して系統性のある教育活動に取り組めたか。	B 3.00	A 3.28
個に応じたキャリア教育の実践			進路指導部 各学部	ライフサイクルを見通した視点で、児童生徒の発達段階を踏まえた教育活動を行えたか。	B 3.10	A 3.35	
人権教育		人権への意識	全体	児童生徒の主体性を尊重し、人権を尊重した教育活動を行えたか。	B 3.10	A 3.25	
		人権意識を培う指導	人権教育推進委員会 各学部	各学部で作成した人権教育年間指導計画に基づいて、授業や行事において児童生徒の人権意識を培う取組や配慮ができたか。	B 2.93	— —	
つながる学校		理解啓発	地域とのつながり	総務部 各学部	ホームページやブログ等で学校の情報を発信し、本校の教育活動を地域等に広く知らせることができたか。	B 3.19	A 3.40
	総務部 各学部			ひまわりを植えた後に収穫した種を配る「いのちのひまわり絆プロジェクト」の実施を通じて、地域に開かれた学校づくりに取り組めていたか。	B 3.18	A 3.24	
	センター的機能	支援部	児童生徒のより良い支援体制構築のために、支援会議やモニタリングシートを通じて、医療や福祉などの外部機関との連携を取ることができたか。	B 3.12	B 3.00		